



欧州諸国との 働き方の違いから 見えてくるもの

Work Life Balance

マンパワージャパン株式会社

専務執行役員

芳賀 日登美

欧州の実態調査

11カ国に協力依頼

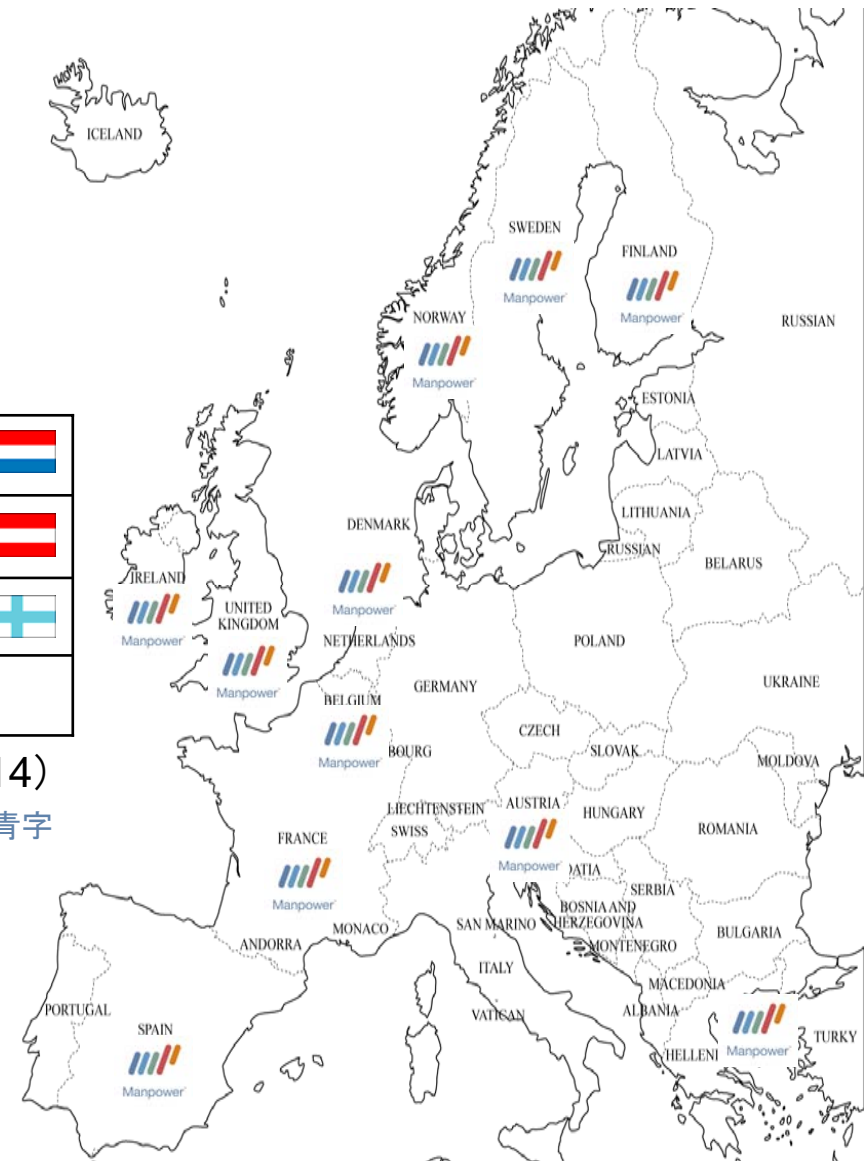
フランス 	ベルギー 	オランダ 
スペイン 	ギリシャ 	オーストリア 
ノルウェー 	スウェーデン 	フィンランド 
イギリス 	アイルランド 	

(有効回答数: 14)

複数回答国青字



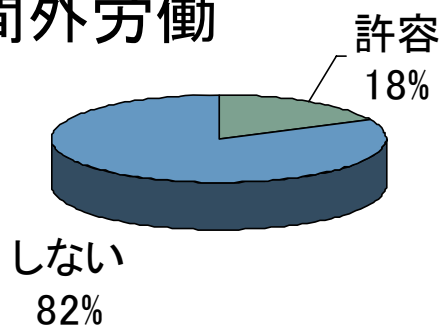
Manpower |



欧州諸国との働き方の違いから見てくるもの

就業概念

時間外労働

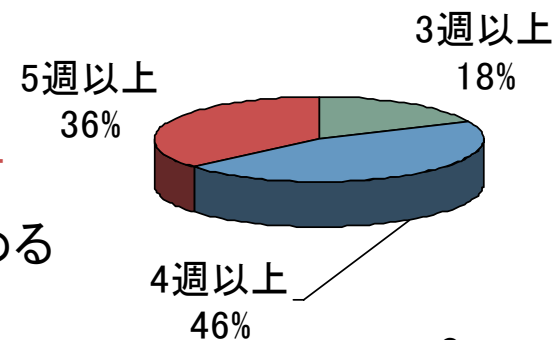


- 残業しない文化
- フランスは35h/週が基準
- 法による厳しい残業規制
- 但し管理職はこの限りではない





休む権利

- 最低3週間最長6週間の有給休暇がワークライフバランスを支援
- フランス、ベルギー、夏季休暇で3~4週連続取得
- ベルギーには会社自体を1ヶ月休業する企業も有
- 計画は、フランスは3ヶ月前、オーストリアは6ヶ月前
- オーストリアは、長期休暇の理由を問われずに休める



育児休暇



- 取得可否
 - 7カ国で男女とも同等の育休取得を保障 ()
 - 産休・育休がキャリアに影響しないと明言 ()
- 各国の制度

イギリス	5歳以下の子供がいる場合、4週/年の無給休暇を法で保障 13週/子供が限度。28日前に申請要
ベルギー	♀5歳まで、3ヶ月休、6ヶ月パートタイム、18ヶ月1日/週無給休暇を取得可 ♂育休10日+女性と同様の休暇制度有
フランス	3歳以下の子供がいる場合、育休ないしは時短勤務可。産休16-18週、父親育休
オランダ	♀8歳になるまで26週の無給育休(去年まで13週)取得可。産休は州が16週保障
オーストリア	政府より、2週/年の育休支給。
アイルランド	8歳以下の子供がいる場合、14週無給休暇を法で保障
ギリシャ	♀国による6ヶ月育休キャンペーンが今年スタート ♂長期休暇や育休取得は普及していない

ワークライフバランスの向上

- 残業無・休暇取得推進
 - 終業間際にミーティングをしない(🇫🇷)
 - 金曜は早帰もしくは休暇(🇫🇷🇧🇪🇸🇩🇪🇫🇷)
 - 残業=コスト増という認識が社内常識(🇮🇹)
- 多彩な就業形態
 - 在宅勤務(🇮🇹🇧🇪🇸🇩🇪🇫🇷)
 - 子供の就学時期のみ就業(🇬🇧)
 - 年間で就業時間を契約(🇬🇧🇮🇹)
 - 社内保育施設(🇩🇪)
- その他の取組
 - ワークライフバランスに関する研修実施(🇳🇴)
 - 48H/週以上就業するには合意書が必須(🇬🇧)
 - ポジションキープしたまま1年無給休暇(🇧🇪🇮🇹)



実践国からのメッセージ



- 生産性
 - 変則勤務者の生産性は高く、欠勤率は低い(🇬🇧)
 - 時短勤務で生産性は下がっていない(🇫🇷🇮🇹🇮🇪)
 - 明確なゴールとスケジュールを指示すれば影響無(🇪🇸)
 - 信頼関係を結べば生産性は下がらない(🇳🇱🇩🇰🇫🇮)
- 阻害要因
 - 変則勤務を許容できない旧体制、自己管理能力の低さ、過労働(🇬🇧)
 - 純益減、営業力減、緊縮財政等による過労働(🇳🇱)
 - フレックス勤務の有用性を認めない頑固者。景気低迷に伴う組織ダウンサイジングから来る業務量増(🇮🇹)
 - 薄給、保育園不足(🇩🇪)

「成功の鍵」から学ぶ

- 成熟した企業、明確なゴール、個人を信頼することが重要。選択肢を与えると、人はモチベーションを上げ、コミットも増える(🇪🇸)
 - 在宅勤務中の同僚。入社時と同様に働いていると信頼できますか？
- 労働時間の重要性を認識できるマネージャーを育成し、時間外労働習慣を払拭。それにより、不満、ストレス、病気、生産性低下を排除する(🇮🇹)
 - 時間外労働をゼロにします。困りますか？
- マネジメント層が変則勤務導入により得られるメリットを理解すること(🇬🇧)
 - フレックス、10日以上 of 休暇、在宅勤務。メリットを考え許容できますか？

日本に根付かせるには、国民性、カルチャーを十分理解した上で、日本人に賛同されやすいシステムの考案が必須では。